

人権尊重のまちづくりをめざして

人権に関する 市民意識調査結果

〈概要版〉



調査の概要

【調査目的】

市民の皆さんの人権に関する意識の現状を把握し、今後における「人権尊重のまちづくり」の指針となります「人権施策基本方針」策定の資料その他として有効に活用するために実施しました。

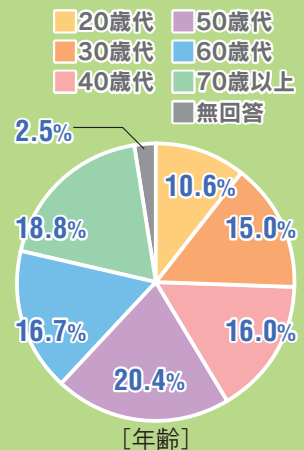
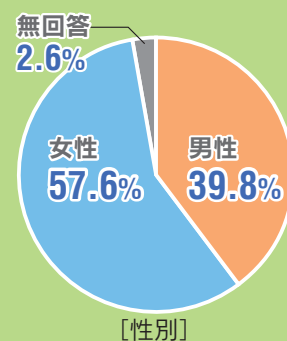
【調査方法】

調査地域：彦根市全域
調査対象：彦根市に在住する20歳以上の方（永住権を有する外国人住民を含む。）
対象者数：3,000人
抽出方法：無作為抽出
調査方式：郵送法・無記名方式
調査期間：平成18年9月6日～9月27日

【回収状況】

調査票発送数：3,000人
調査票回収数：1,486人
回収率：49.5%

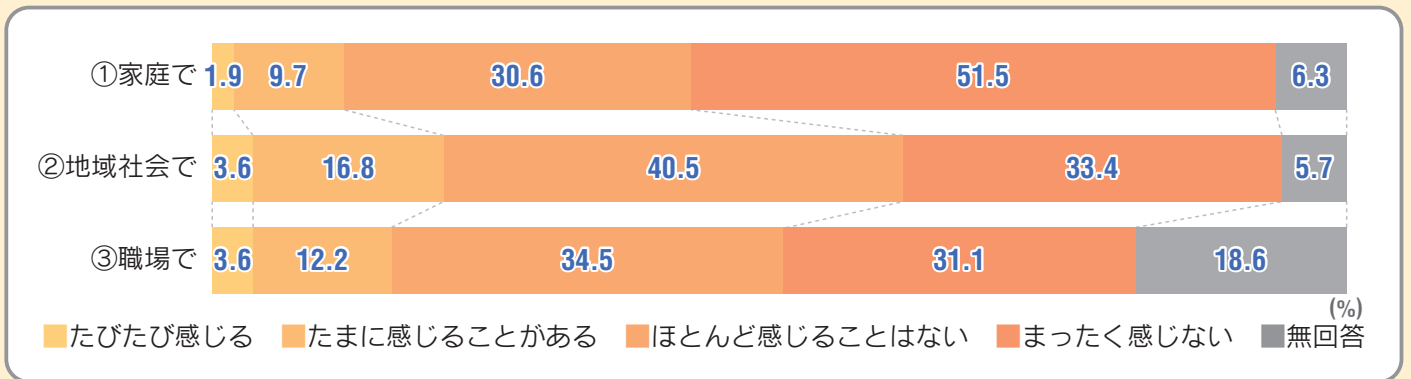
【回答者の属性】



彦根市

人権侵害について

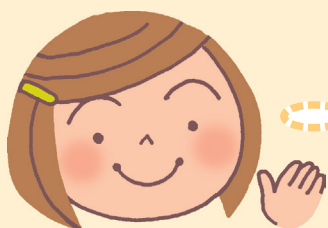
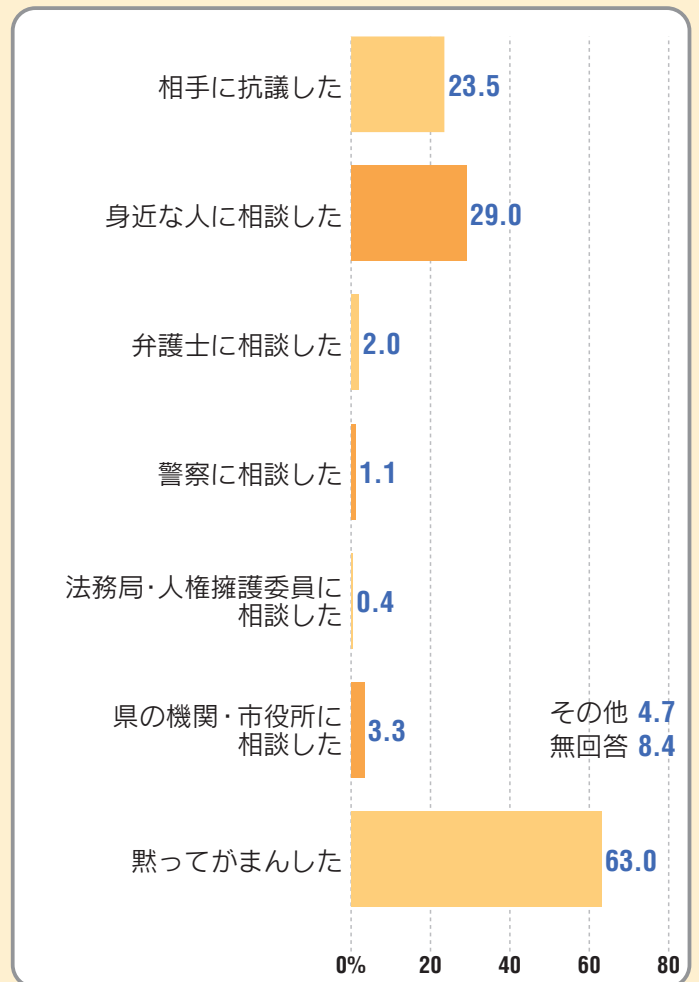
●この4～5年で、日常生活で、差別や人権侵害を受けたと感じることがありますか。



●人権侵害を受けたと感じたのは、どのような場合ですか。(複数回答)



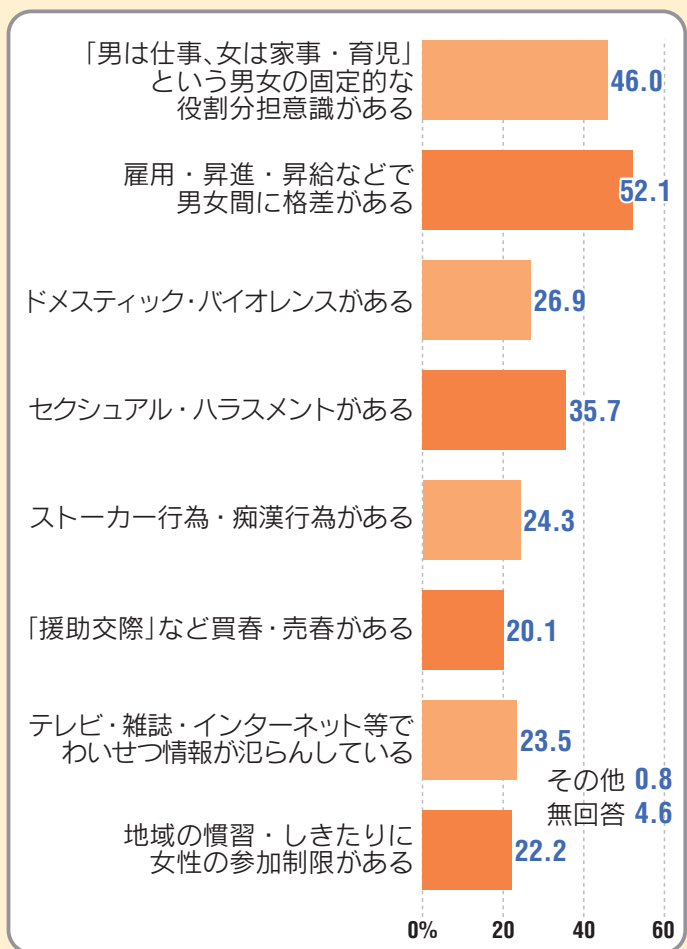
●人権侵害を受けたと感じた時にどのような対応をされましたか。(3つ以内で回答)



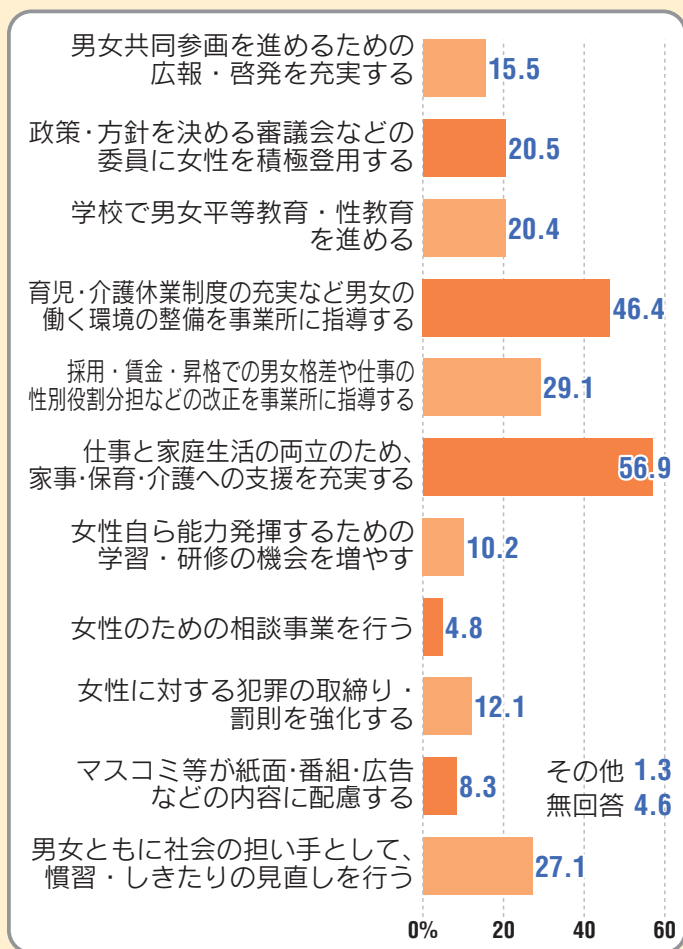
地域社会、職場または家庭で、人権侵害を受けたと「たびたび」または「たまに」感じる人がいる割合は1割～2割で、ほとんどの人は人権侵害を受けたと感じていません。人権侵害を受けたと感じた時の対応については、「黙ってがまんした」人が約6割で最も割合が高く、公的機関等(県の機関、市役所、警察、法務局・人権擁護委員、弁護士)に相談した人の割合は6.8%に過ぎません。

女性の人権について

●女性に関し人権上問題があるのはどのようなことだと思いますか。(3つ以内で回答)

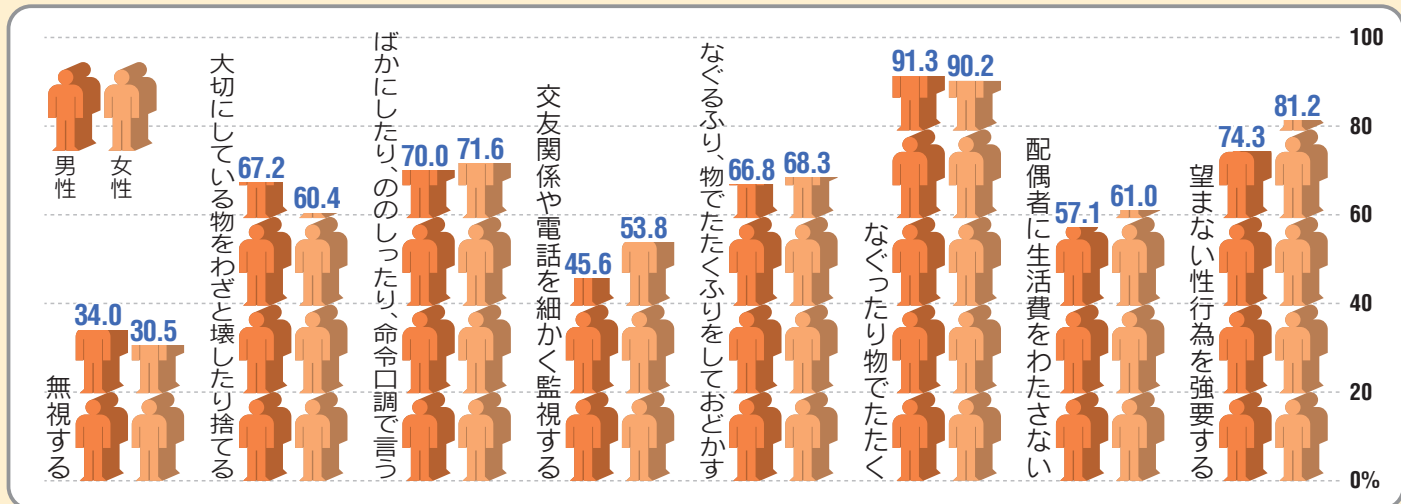


●女性の人権が尊重されるために必要なことは何だと思いますか。(3つ以内で回答)



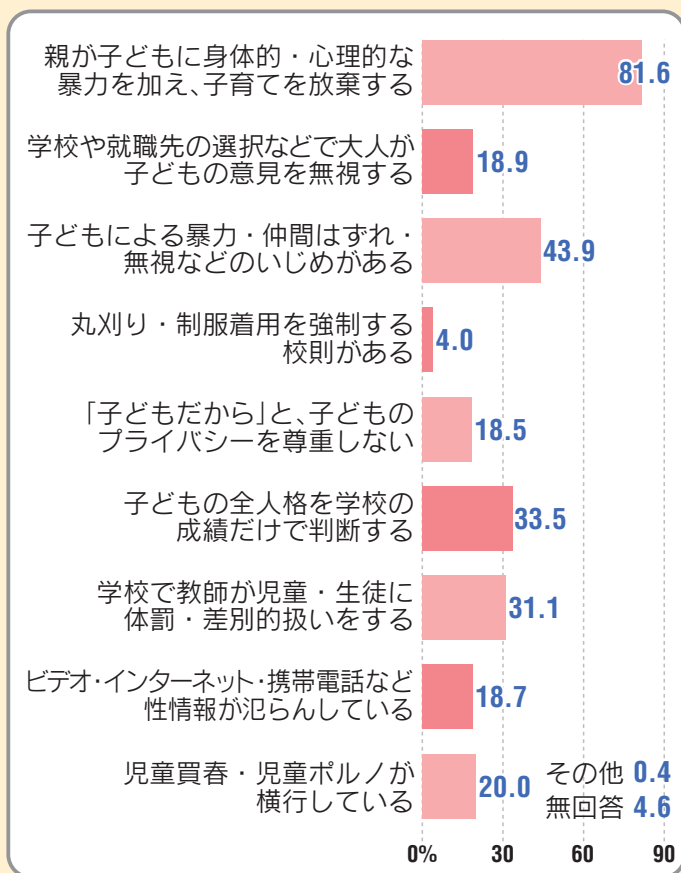
ドメスティック・バイオレンス(DV)は、夫婦や恋人など親密な男女間でおこる暴力のことです。身体的暴力のほか心理的・性的・経済的な暴力や子どもを巻き込んだ間接的な暴力も含まれます。セクシュアル・ハラスメントと同じく、異性への人権侵害であり、犯罪です。

●次の行為はドメスティック・バイオレンス(DV)だと思いますか。[「DVだと思う」の回答のみ表示]

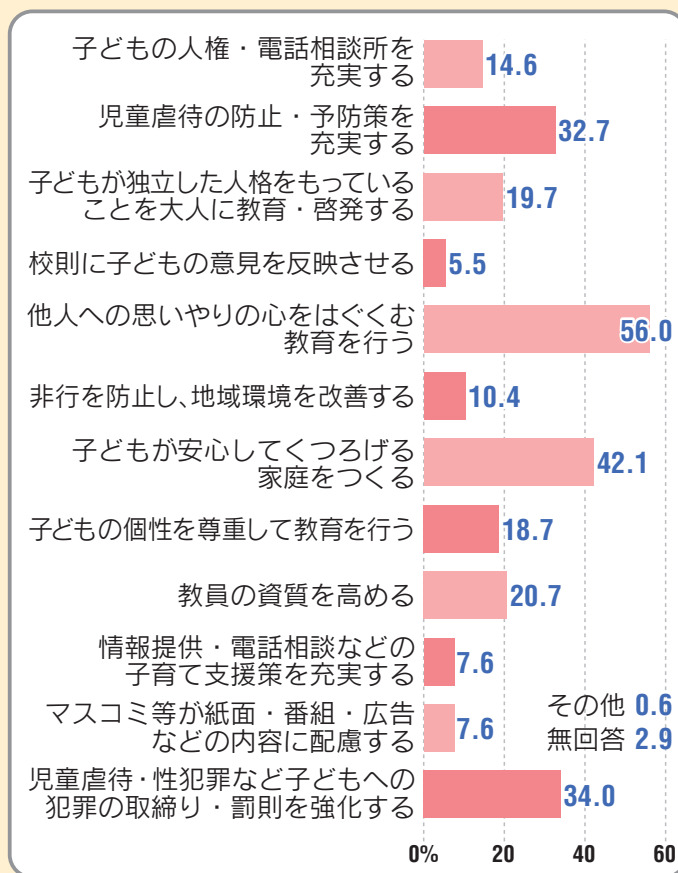


子どもの人権について

● 子どもに関し人権上問題があるのはどのようなことだと思いますか。(3つ以内で回答)

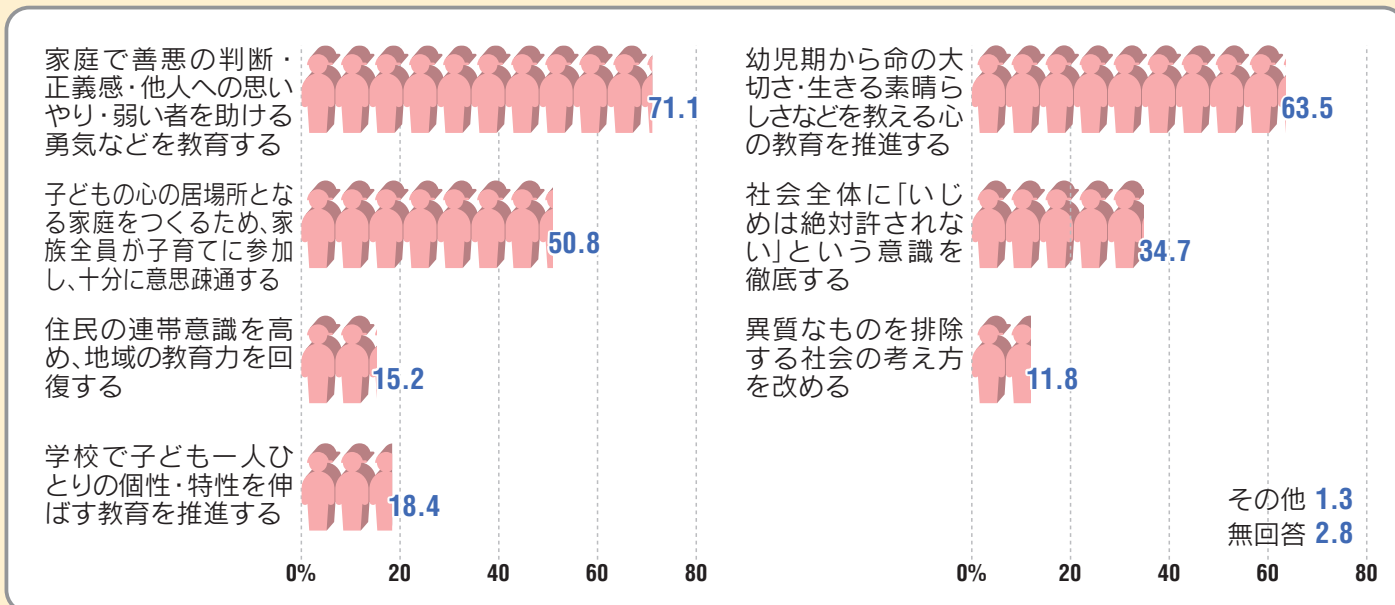


● 子どもの人権が尊重されるために必要なことは何だと思いますか。(3つ以内で回答)



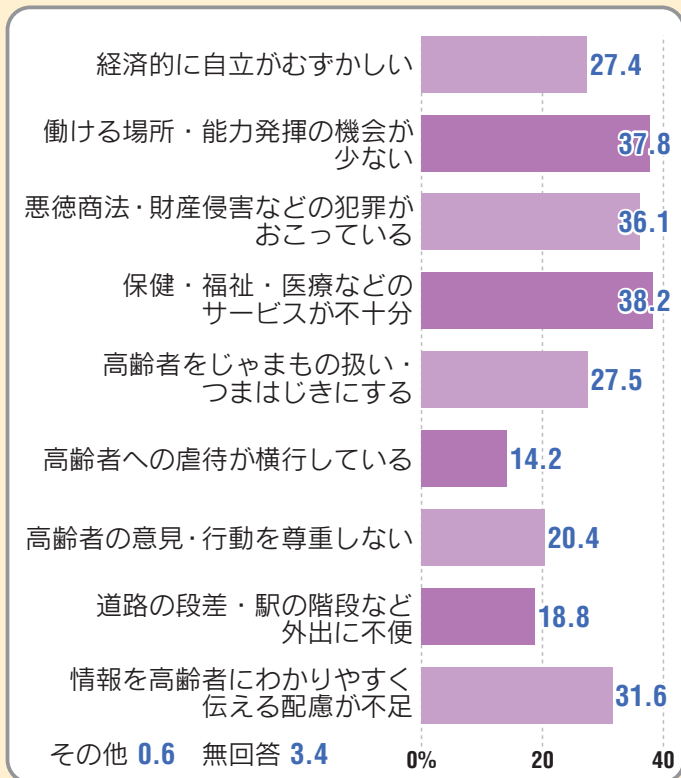
子どもに関し人権上問題があることとして、児童虐待やいじめの問題をあげ、その対策としては、家庭や家族、心の教育が大切だとする意見が多くあります。

● いじめを予防するために必要なことは何だと思いますか。(3つ以内で回答)

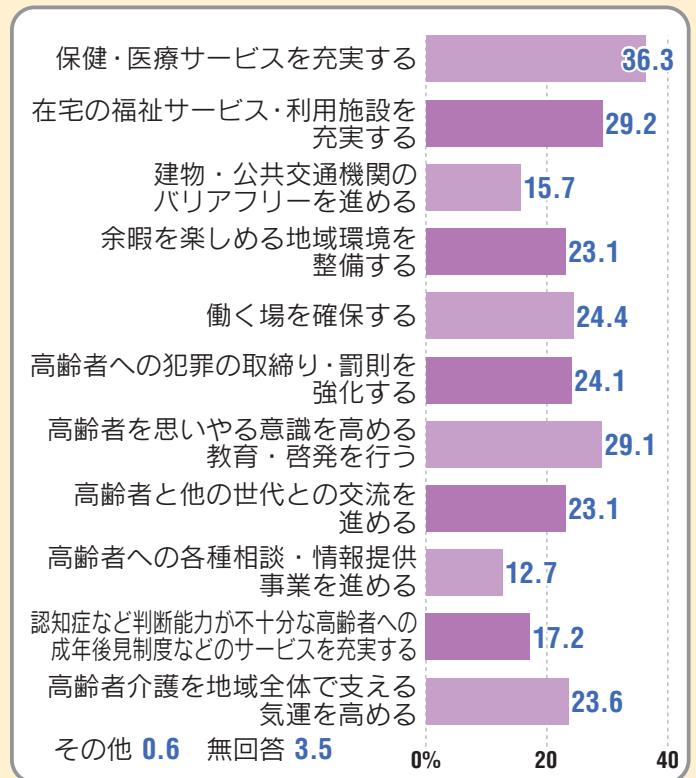


高齢者の人権について

● 高齢者に関し人権上問題があるのはどのようなことだと思いますか。(3つ以内で回答)

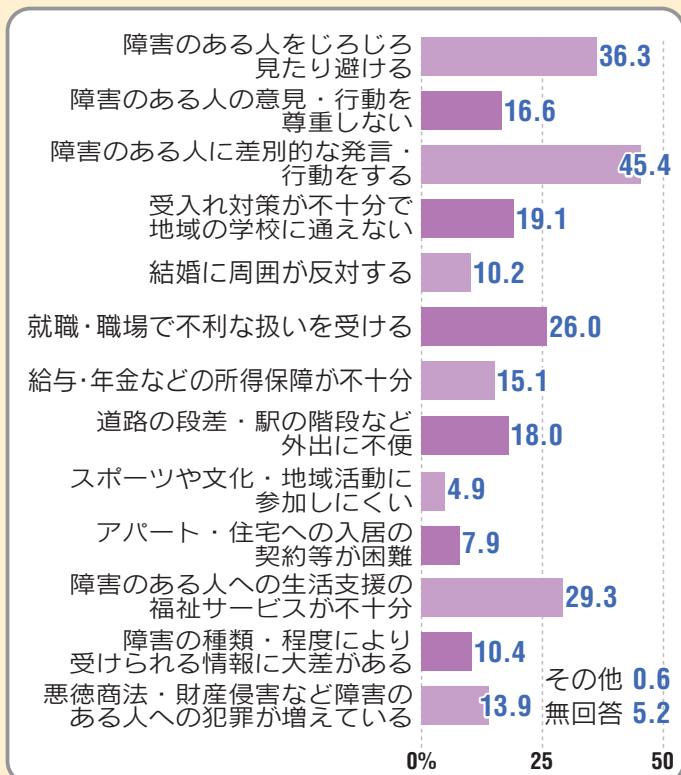


● 高齢者の人権が尊重されるために必要なことは何だと思いますか。(3つ以内で回答)

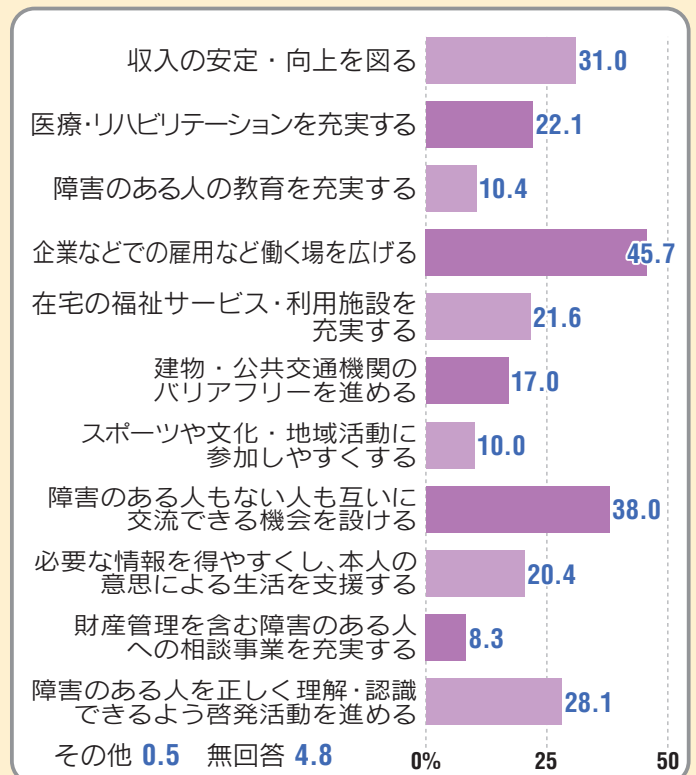


障害のある人の人権について

● 障害のある人に関し人権上問題があるのはどのようなことだと思いますか。(3つ以内で回答)

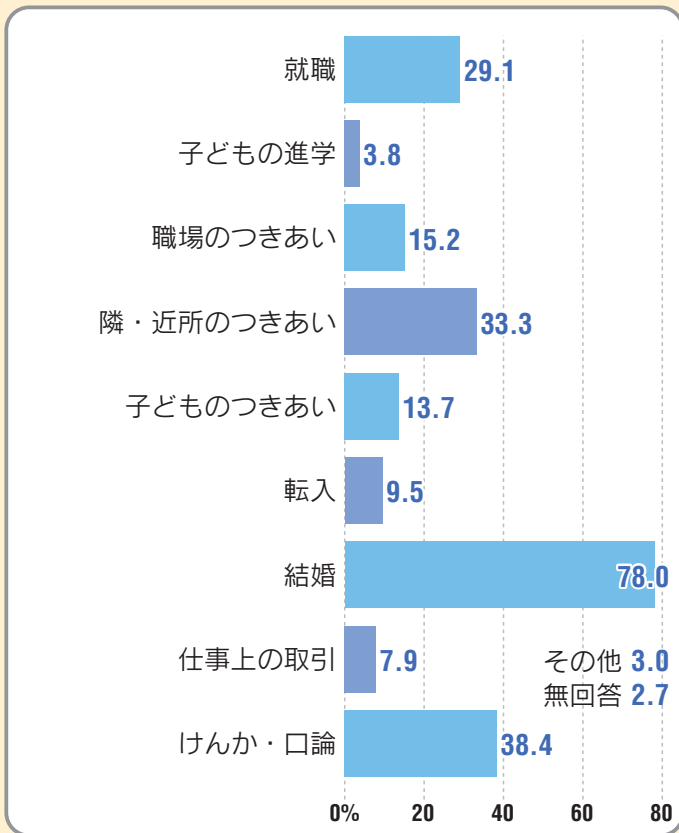


● 障害のある人の人権が尊重されるために必要なことは何だと思いますか。(3つ以内で回答)

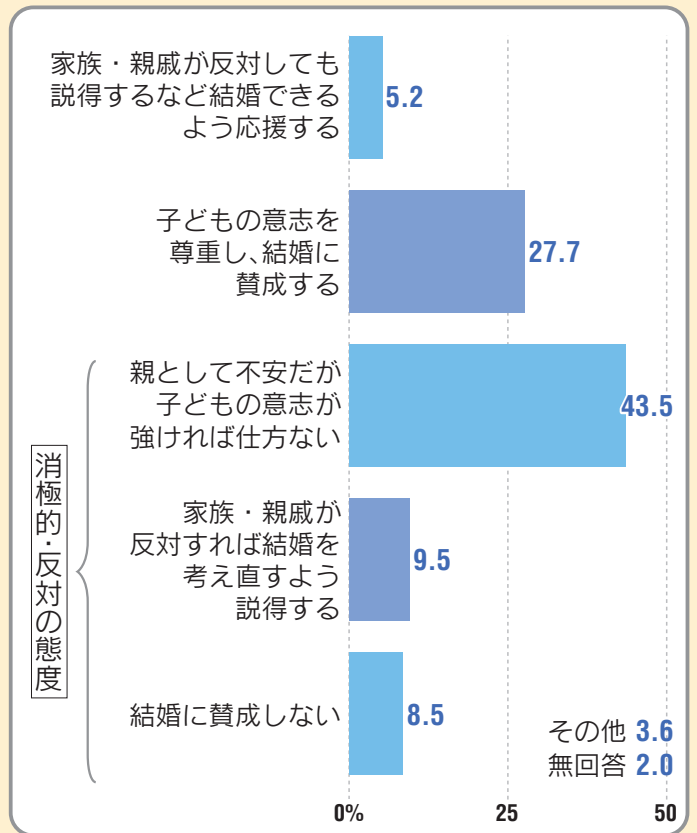


同和問題について

● 同和地区や同和地区の人に対する差別は、どんな時にあらわれると思いますか。(複数回答)



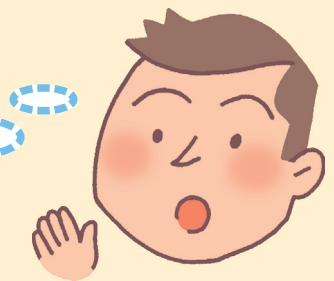
● あなたの子どもが結婚しようとしている相手が同和地区の人であった場合、どのような態度をとると思いますか。



同和地区や同和地区の人に対する差別は、「結婚の時にあらわれる」と思う人が最も多くなっています。

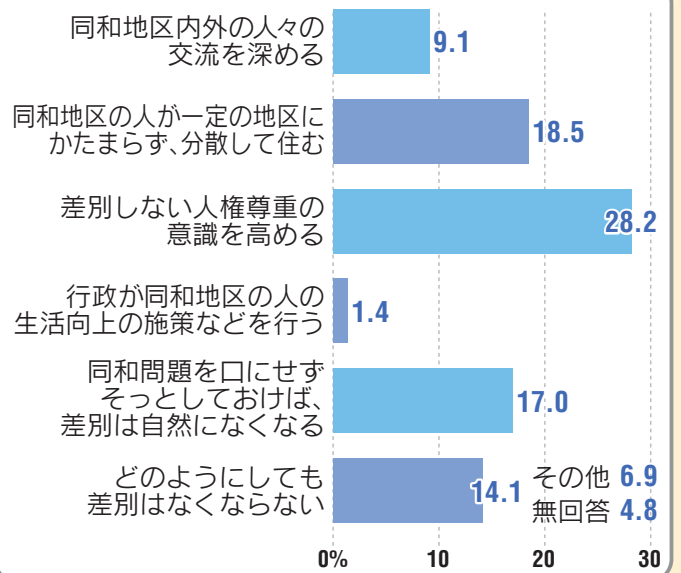
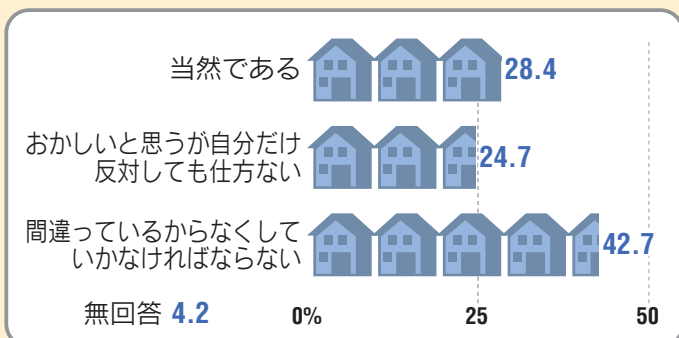
子どもの結婚相手が同和地区の人であった場合、消極的または反対の態度をとる人は約6割であり、また、結婚・就職差別につながる身元調査について、「当然」「自分だけ反対しても仕方ない」と思う人は5割を超えています。

また、こうした同和問題を解決するためには、「差別をしない人権尊重の意識を高める」と思う人の割合が最も高くなっています。



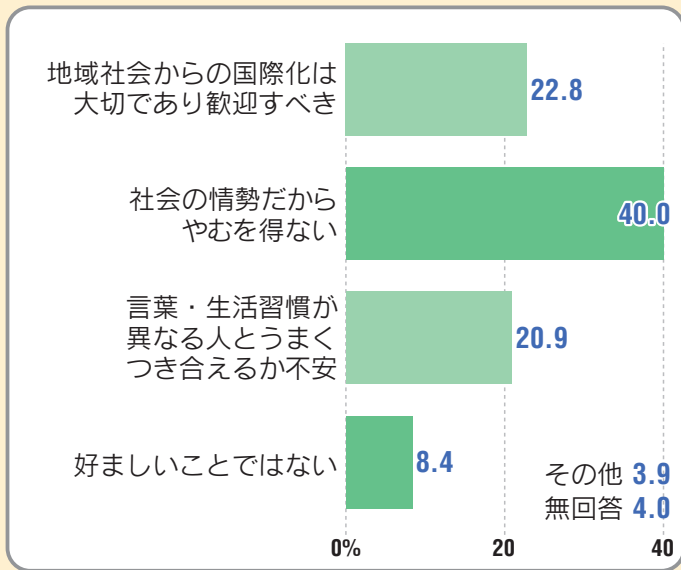
● 同和問題を解決するためには、どうしたらよいと思いますか。

● 結婚や就職の時に身元などを調査する風習について、あなたはどのように思いますか。



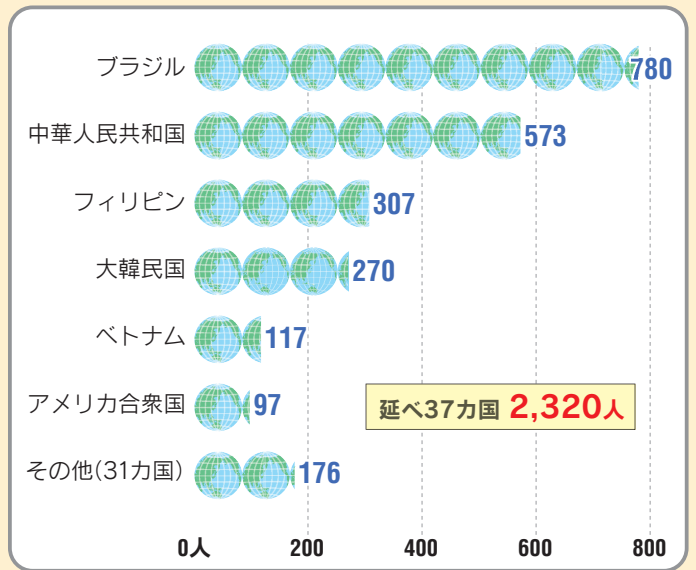
外国人の人権について

●外国人住民が増えていることについて、どう思いますか。



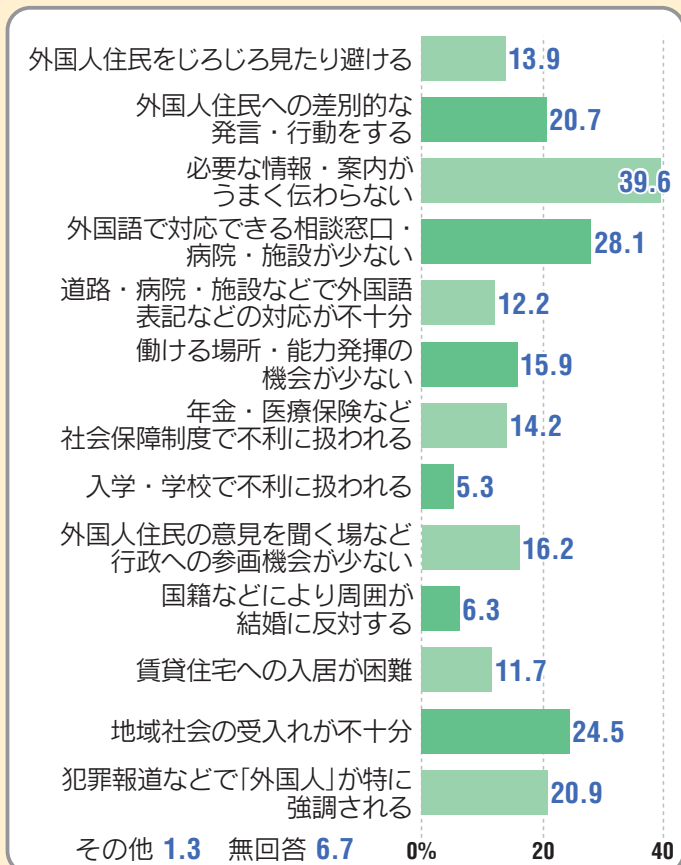
●国籍別外国人住民人口(彦根市)

平成19年2月28日現在、単位：人

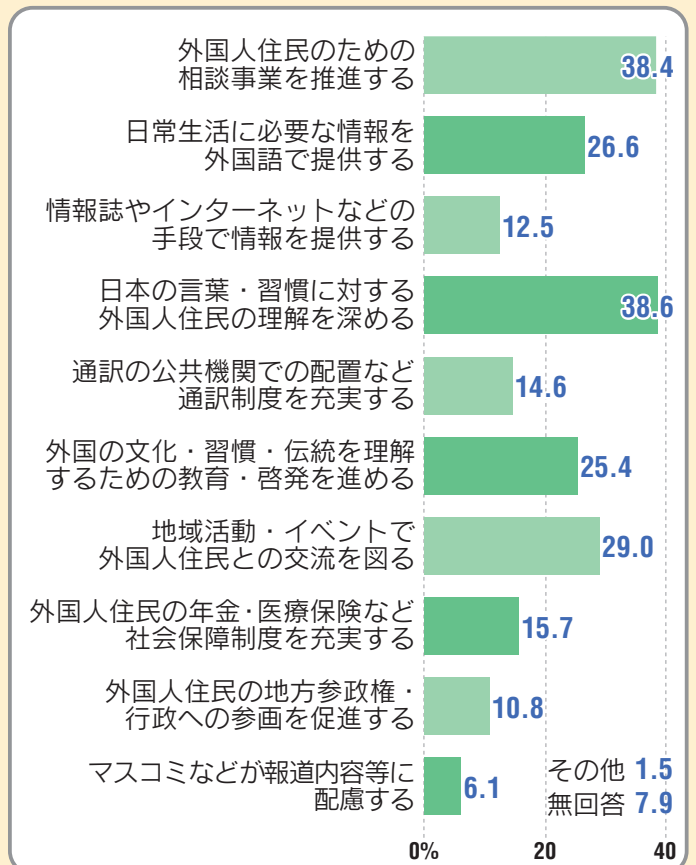


彦根市民の50人に1人は外国人住民です。多様な文化や価値観を理解し、お互いに尊重し合って、豊かにつながる事が大切です。

●外国人住民に関し人権上問題があるのはどのようなことだと思いますか。(3つ以内で回答)

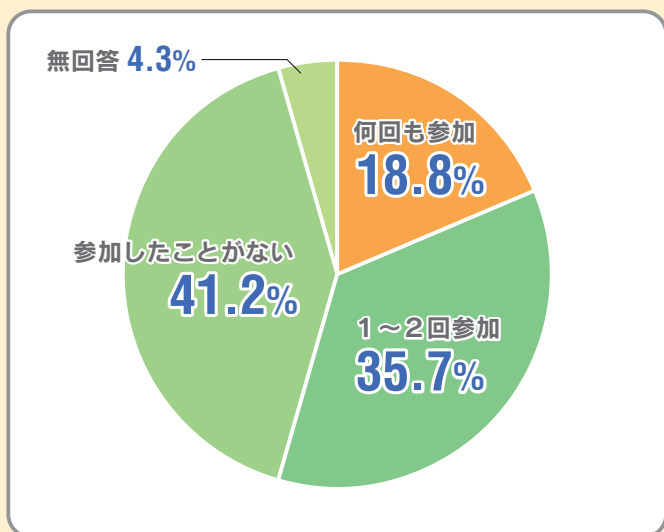


●外国人住民の人権が尊重されるため必要なことは何だと思いますか。(3つ以内で回答)



人権教育・啓発について

●過去4～5年の間に、人権に関する講演会や研修会等にあなたはどの程度参加しましたか。



人権が尊重されるまちをつくるためには、人権教育や啓発が大切であると多くの人と考えています。また、人権教育や啓発への参加機会が多いほど人権意識が高い傾向があります。

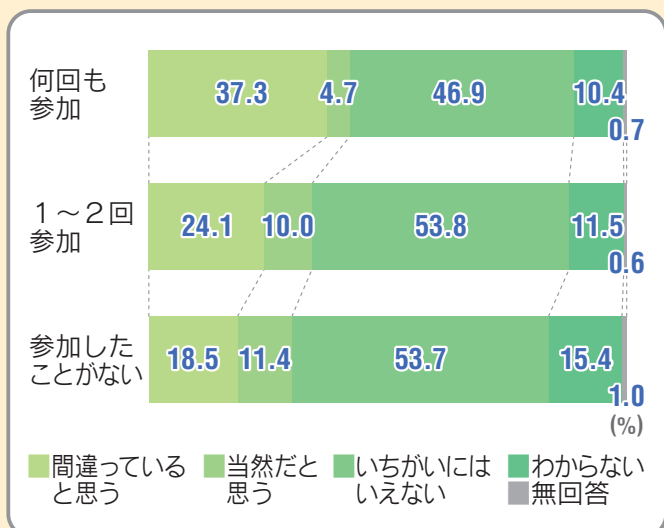
今後、これまで以上に教育・啓発すべき分野は、子どもや高齢者、障害のある人の人権問題など多岐にわたっています。



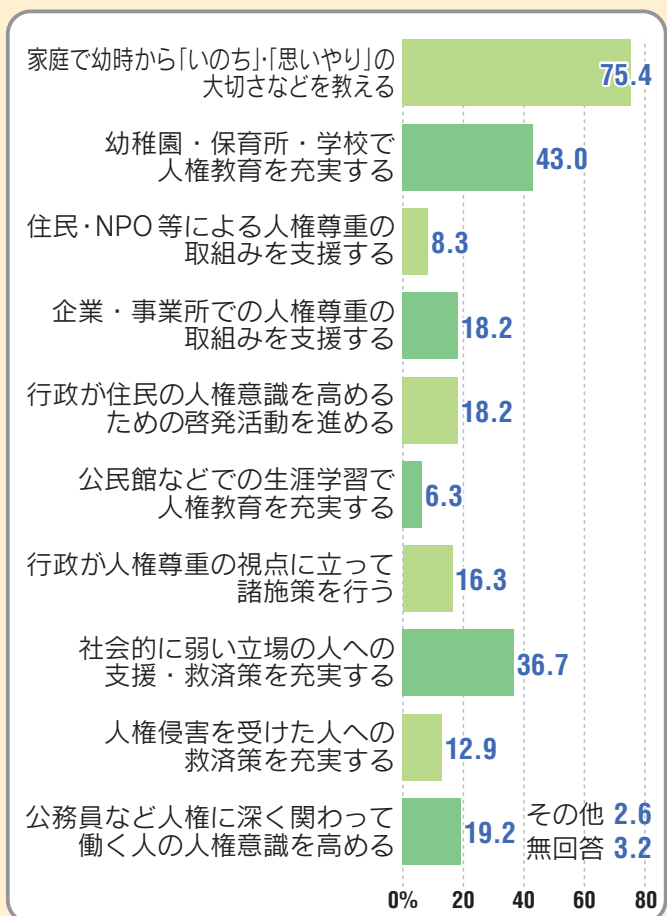
●人権に関する講演会や研修会等と人権侵害に対する意識との関係性

【人権侵害の事例】

手ごろな家を買おうとしましたが、「同和地区」に隣接していたため、買うことを見合わせました。



●人権が尊重されるまちをつくるために、どのような取組みが必要だと思いますか。(3つ以内で回答)



●今後、どの人権問題についてこれまで以上に教育や啓発をすべきだと思いますか。(複数回答)

